

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 27 日作成)

小委員会名	コミュニティ居住小委員会		主 査 名：藤岡泰寛 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)		委員長名：大原 一興 主 査 名：黒野 弘靖
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2016 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・「居住の安定」を達成するための研究・実務の枠組みを整理・検討・提案する ・過去の小委員会活動のアーカイブ化、論点整理を進める。(2014 年度) ・大会オーガナイズドセッションの実施や公開研究会実施を通じて、問題意識の共有と議論の展開を行う。(2015 年度) 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：藤岡泰寛 (横浜国立大学) 森重幸子 (京都大学大学院工学研究科建築学専攻研究員) 幹事：新井信幸 (東北工業大学) 牧野唯 (日本工業大学) 幹事：安武敦子 (長崎大学) 西野達也 (金沢大学理工研究域環境デザイン学系) 委員：阿部俊彦 (早稲田大学、LLC 住まい・まちづくりデザインワークス) 後藤智香子 (柏の葉アーバンデザインセンター・ディレクター) 真野洋介 (東京工業大学) 櫻井典子 (新潟大学) 小杉 学 (東北工業大学) 原田陽子 (福井大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	仮設住宅リユーススタディWG (主査：新井信幸) (震災復興過程における居住の安定を捉える視点の一つとして仮設住宅の再利用 (リユース) に焦点をあて、現状の課題と可能性、事例的取り組みの到達点などについて整理する。)		
2015 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	公開研究会「仮設リユースのすゝめー居住の安定をめぐる視点 (1)ー」 参加者数 34 名
大会研究集会	2015 年度大会 オーガナイズドセッション 建築計画部門「居住の安定を支えるコミュニティ空間 (発表題数 14 編、参加者数 30 名)」
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会活動の目標、研究の枠組み、論点整理が進んだ 2. 大会オーガナイズドセッションを企画し 14 題の発表を得た。 3. WG の成果報告を兼ねた公開研究会を企画し実施予定 (3/14) である。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員が全国に分布しており、活動予算等の関係で頻繁に集まることができない、見学会等でも活動予算が使えないことが課題と考えている。 2. 復興支援活動や、研究活動の個別成果は挙がってきているのでこれを小委員会として統合しつつ刊行物等に結びつけることが課題と考えている。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。